

令和6年度以降の保健事業について(変更予定) ～福利厚生型から健康管理型へ～

東京支部では、令和5年4月に改訂された公立学校共済組合の事業方針「保健事業実施に関するガイドライン」を踏まえ、今後の保健事業の在り方について「保健事業検討委員会」を設置して検討を行っています。令和6年3月に検討結果を取りまとめ、令和6年4月から実施予定です。

令和6年度の保健事業の詳細は、広報誌「かがやき 春号」（3月下旬発行）及び東京支部ホームページ等（3月下旬更新）でお知らせします。

見直しの背景

- 保健事業を取り巻く環境
 - 国は、健康寿命の延伸に向けて、予防・健康づくりを強力に推進しており、共済組合などの保険者には実効性のある取組が求められています。
 - 公立学校共済組合全体の組合員数は、会計年度任用職員制度の導入や非常勤職員への共済制度の適用拡大により、大幅に増加しています。また、年齢構成や給与水準が変化したことから、保健事業の財源（※組合員の掛け金と地方公共団体の負担金で賄われています。）は減少していく一方で、事業費の増が見込まれています。
- 公立学校共済組合の事業方針（ガイドライン）
 - この方針では、保健事業の目的である「組合員とその被扶養者の健康の保持増進・疾病予防」に立ち返り、アウトカム（成果）を意識した事業の実施に取り組むこととし、目的に沿わない事業は適切に見直しを図るとされています。
 - 東京支部の保健事業財源は、毎年度、本部から一定の基準により配分され、これまで、執行残額については繰越が認められ、翌年度の事業財源にすることができました。しかし、本部から各支部への配分方法が変更され、令和6年度からは、前年度に執行残額があった場合は、その分を差し引いて配分されることとなったため、各支部では、毎年度の配分額の中で事業を実施することになります。
その結果、東京支部では事業財源が約4割減少するため、事業の圧縮が必要となります。

保健事業検討委員会での検討状況（令和6年1月19日時点） ～東京支部保健事業見直しの考え方～

- 検討委員会の構成
 - 職員団体を代表する者3名（東京都教職員組合、東京都公立学校教職員組合、東京都高等学校教職員組合）、校長会を代表する者3名（小学校長会、中学校長会、高等学校長協会）、東京支部を代表する者3名、有識者（医師）1名、オブザーバー1名
- 検討の視点
 - 限られた財源で効果的に保健事業を実施するため、公立学校共済組合の事業方針（ガイドライン）を踏まえ、事業内容の見直しを行う。
- 健診事業（人間ドック・オプション、器官別健診）
 - 基本ドックは、助成額を見直しつつ継続（助成額は年度ごとに見直し）
 - 人間ドックオプションは、5大がん（肺、胃、大腸、乳房、子宮）検診項目への助成は継続
5大がん以外の項目については、助成の廃止を含め検討
 - 器官別健診は、現行の助成内容を維持
- 健康づくり事業（こころの相談、スポーツクラブ利用補助、健康ポイント等）
 - 事業内容の充実を図りつつ継続
- 一般事業（福利厚生サービス提供等）
 - 福利厚生サービス（かがやきメイト）は、保健事業の目的に沿った内容に大幅見直し
（育児・介護メニュー、島しょ支援は継続。宿泊、レジャーなど、その他のメニューは廃止を含め検討）

見直しのイメージ（令和6年1月19日時点）

事業(見直し予定)	令和5年度	令和6年度以降(見直し案)
人間ドック	<ul style="list-style-type: none"> 基本ドック助成 節目年齢助成額加算 ※令和8年度まで 永年勤続退職助成額加算 	<ul style="list-style-type: none"> 基本ドック助成 (助成額は毎年度見直し) 節目年齢助成額加算 ※令和8年度まで 永年勤続退職助成額加算
人間ドックオプション	<ul style="list-style-type: none"> 肺(CT) 女性健診(乳房検査) 女性健診(子宮頸がん検査) 脳(MRI・MRA) 骨盤(MRI) LOX-index(ドックスインデックス) AICS(ドックスインデックス) 腸内フローラ検査 	<ul style="list-style-type: none"> 肺(CT) 女性健診(乳房検査) 女性健診(子宮頸がん検査)
器官別健診	<ul style="list-style-type: none"> 胃内視鏡検査 大腸内視鏡検査 女性健診(乳房/MNF) 女性健診(乳房/超音波) 女性健診(子宮) 男性健診(前立腺検査/PSA) 	<ul style="list-style-type: none"> 胃内視鏡検査 大腸内視鏡検査 女性健診(乳房/MNF) 女性健診(乳房/超音波) 女性健診(子宮) 男性健診(前立腺検査/PSA)
かがやきメイト	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスタ! スポーツクラブ利用補助 健康ポイント・健康ポータル かがやきメイト健康診断 かがやきメイト宿泊補助 リラココ! レジャココ! 東京ディズニーリゾート©補助 日帰り旅行補助 オンライン体験ツアー 書籍要約サービス 各種イベント おくたま森林セラピー体験 育児支援品購入補助 病児保育ベビーシッター利用補助 育児・介護家事代行利用補助 妊活支援 遠隔地組合員宿泊利用補助 島しょ組合員支援補助 	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスタ! スポーツクラブ利用補助 健康ポイント・健康ポータル かがやきメイト健康診断 育児支援品購入補助 病児保育ベビーシッター利用補助 育児・介護家事代行利用補助 妊活支援 遠隔地組合員宿泊利用補助 島しょ組合員支援補助

検討委員会委員のご意見

- 今までどおり全部の事業があれば良いが、予算だけの問題ではなく保険者の保健事業は健康管理に特化するという国の方針などのこととなると、その中でやるしかない。今後見直しを行うときには、今回廃止も含めた検討をしている事業の復活も視野に入れてほしい。
- 福利厚生サービス提供事業は人間ドック補助を削ってまでやるものではない。
- 人間ドックの補助は少なくなっても、宿泊、レジャー、リラクゼーションを全てなくすのではなく、回数を減らしても残してほしい。
- 例えば、レジャーやリラクゼーションは他団体で類似のものがあるから、東京支部としては健康管理に特化するという方向であれば、いわゆる棲み分けのような発想だろうと思う。
- 医者からの意見としては、教職員の健康が重要という点から見て人間ドックの助成継続は非常に重要。また、確実に死亡率の低減効果が期待される5大がん検診を優先実施という形でかじを切るのはやむを得ない。
- 健康づくりという視点において様々な考え方があり、財源が削減されていくという中で何を残していくか、なかなか線引きは難しい。健康に関心のある若い先生方は増えているので、事業に反映していただければと思う。

令和6年度以降の保健事業(変更予定) Q&A

- Q:** なぜ、保健事業を見直すのですか？
- A:** 公立学校共済組合の保健事業の事業方針が新たに制定され、その内容を踏まえたものにする必要があること、保健事業を実施するための財源が大幅に減少することなどから、事業の見直しが必要になりました。
- Q:** なぜ、財源が減少するのですか？
- A:** 東京支部の保健事業財源は、これまで、本部から配分される事業費に加え、前年度までの執行残である保有資金を活用して事業を実施してきました。令和6年度からは、繰越ができない仕組みに変更されたため、毎年度の配分額の中で事業を実施することになったことによるものです。東京支部では事業財源が約4割減少します。
- Q:** 人間ドックオプションに脳（MRI・MRA）検査がないのはなぜですか？
- A:** 公立学校共済組合の保健事業の事業方針では、5大がん検診（肺、胃、大腸、乳房、子宮）を優先することとされています。それ以外の検査はがん検診ガイドラインに基づく推奨グレードがついていない項目であるため、限りある財源の中で、死亡率減少に効果があると推奨されている5大がん検診への助成を優先し、5大がん以外のオプション検査への助成は廃止を視野に検討しています。
- Q:** かがやきメイトの、かがやきメイト宿泊、レジャココ!、リラココ!、各種イベントは、全て無くなってしまうのですか？
- A:** 上記メニューは廃止を視野に検討しています。
他団体（東京都人材支援事業団等）で実施している類似のサービスがございますので、ご参考にしてください。
- Q:** 令和6年度の間人ドックの助成額などは、いつ、いくらになるのか確認できますか？
- A:** 詳細は、広報誌「かがやき 春」（3月下旬発行）、東京支部ホームページ等（3月下旬更新）でお知らせしていきますが、Q&Aなどは随時更新する予定です。